



# 平成25年度広島県緑化ポスター原画コンクール「特選作品」

## 【小学校の部】



広島市立伴小学校1年  
湯浅 さくら さん

### 【審査員講評】

木が、真ん中に大きく描かれ、一目見て、木を大事にする感じが良く出ている。周りには動物たちやりんご等も描かれ、みんなで木を大切にしようとしている。

下の女の子が自分で、自分と大切にしたい木がしっかりと描けている。

## 【中学校の部】



広島市立古田中学校3年  
上森 香凜 さん

### 【審査員講評】

山の中の空気感や雰囲気が良く出ている。今から苗を植えるところで、遠近感がうまく描き分けられており、奥行きが感じられる。光が当たるところと影で暗いところが、色の塗り重ねで表現されている。前景はリアルに表現され、後景がボカしてあり、遠近感がうまく表現されている。

## 【高等学校の部】



広島県立熊野高等学校2年  
中島 優菜 さん

### 【審査員講評】

人物を後ろ向き、横向きに描いているのが良い。主役の木である高い木を愛しており、大切にしたいという感じが、とても良く表現されている。木の立体感があり、色の統一感がある。落ち着いて見える。背景が明るく処理され、木の存在感がある。人物は後ろ姿なのに、笑顔が見える。ただ見上げているのではない。

## 【特別支援学校の部】



広島県立廿日市特別支援学校 高等部3年  
田中 聖人 さん

### 【審査員講評】

樹齢を重ねて高く生い茂る木を表している。見上げる構図になっている。大きな木の表現がされている。丁寧な作品である。  
木の表現がすごい。近くから見ると点描が分かる。離れて見ると立体感がある。